

平成27年度 学校評価計画表

奈良県立西和清陵高等学校

<p>教育目標</p>	<p>教育環境の整備を図り、活力と創造力をそなえた人間形成を学校教育全般で育み、地域との連携を強化し、社会人として「生きる力」を育成する。</p>		<p>総合評価</p>
<p>運営方針</p>	<p>(1) 地域と共にある学校づくりの推進 (2) 教職員全員による学校経営への参加 ①報・連・相の徹底 ②教える者自身が学ぶ (3) 学校教育の充実と生徒理解の推進 ①子供たちの可能性を最大限引き出す ②部活動の活性化、生徒会活動の活性化 ③学校行事の充実 ④総合的な学習の時間等、体験学習の機会の充実 (4) 広報活動の充実</p>		
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>本年度の重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>学習面・生活面において、基礎・基本の習得に一定の成果を得ることができたが、今後さらに主体的に学習や諸活動に取り組む姿勢を、一層伸ばして教科間の教職員の連携・協力体制を強固なものとしていかなければならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識や技能を習得させ、確かな学力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識や技能を反復することで確実に習得させ、進路実現に向け自ら学ぼうとする力を身に付けさせる。 促進講座等を積極的に活用し、進路を実現する学力を伸長する。 スタディーサポートの結果を分析することで、学力と生活習慣の関連性を適格に指導する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立に取組み、社会に適応できる人づくりを目指す。(自らの進路を見据え、将来の夢や希望を持った生徒を育成する。) 	<ul style="list-style-type: none"> 夢・希望・志を育み、目標を持たせる教育活動を推進する。 LHR 活動などをおとして、自らの生き方や進路について考えさせるなど、キャリア教育の充実を図り、三年間をとおした教育活動全般で、組織的・計画的に進路指導を行う。 高大連携による講義体験、模擬試験、資格取得を積極的に実施し、生徒の進路実現の意識を向上させる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 正義感や責任感、連帯感を育み、豊かな人間性を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育を充実し道徳性を養い、主体的に判断する力と適切に行動する力を養う。 ホームルーム活動での人権教育の充実を図り、常に誠意を持って人に接し、相手の立場に立ったものの考え方を育成する。 集団活動やボランティア活動また就業体験活動を通して、基本的な生活習慣やルールを身につけさせ、豊かな人間性を育成する。 学校や学年また学級行事の意義を周知させ、本校生としての連帯感を共有させ、実践力を育む。 清掃活動等の体験、奉仕活動を通して達成感、成就感、自己肯定感を育成するとともに、社会の一員としての自覚を醸成する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> たくましい体力と強い精神力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動を積極的に奨励し、1年を通じ入部率6割を維持する。 生涯にわたって運動を楽しむ力を身につけ、自らの体力向上に向けて目標を立て、主体的に取り組む力を育成する。 健康教育、安全教育、食育指導を充実する。 生徒会活動を活性化する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携を一層強化し、「地域と共にある学校づくり」を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティア活動を一層強化する。プロジェクトチーム、教職員、生徒会、家庭クラブ、部活動、学級活動の連携の強化を図り、地域を取り込んだ協働活動を実践する。 	

評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題（評価結果の分析）	改善方策等	学校関係者評価（結果・分析）及び改善方策
学習指導	基礎・基本の学力の定着	・目的意識を高め学習意欲の向上を目指して、自主学習時間を1日1時間以上させる。目標達成率50%				
		・生徒が理解できる、分かりやすい授業を展開する。				
特別活動	ボランティア活動への参加・啓発	・募金活動、ボランティア清掃等への参加を増やす。				
	生徒会活動の活性化	・各委員会で行う内容を見直し、委員会活動から学校の活性化を促す。				
	部活動の活性化	・部活動紹介・体験を充実させ、加入率40%をめざす。				
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	・遅刻指導対象者および指導内容を共通認識し指導する。昨年度の30%減を目指す。 ・遅刻指導を通して健康への意識高揚を図る。				
	規範意識の向上	・生活アンケートを実施し自己認識を高める。また、全校集会等を通して集団意識の向上を図る。				
	あいさつの励行	・毎朝の校門でのあいさつ運動、SHRを通して、コミュニケーションを意識させ、その能力の向上を図る。				
進路指導・キャリア教育	進路希望の実現	・進路実現に必要な学力を養成するために、年間を通して促進講座を実施する。				
	キャリア教育の推進	・職業人を招いての座談会、保育園実習などを4回以上実施する。 ・進路講演会、進路ガイダンスを、各学年で年2回実施する。				
	進路情報の提供	・「進路ニュース」を年6回発行する。 ・進路説明会やオープンキャンパスの案内、及び進路情報誌を適切に提供する。				
人権教育	人権意識の確立と仲間づくり	・人権HRの充実を図り、仲間づくり、ボランティア意識、道徳意識の向上を図る。				
	教職員と保護者の人権意識の高揚と連携	・時宜的な研修会や学習会の企画。 ・生徒、教職員、保護者との共通した意識とそれに対する啓発活動の具体化。				

評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題（評価結果の分析）	改善方策等	学校関係者評価（結果・分析）及び改善方策
教育相談 特別支援教育	教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセリングカウンセラー派遣事業の有効な活用に努め、精神的な不安を抱える生徒への相談の充実に努力する。 ・校内教育相談体制の構築に努める。 ・外部機関（教育研究所・医療機関・スクールカウンセラー等）との連携を図る。 				
	特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害等により特別な教育的支援を必要としている生徒の実態把握に努める。 ・学習活動や生活全般にわたる支援の促進と充実に努める。 ・特別支援教育支援員制度を活用して、効果的な授業中の学習支援に努める。 				
保健・安全管理	生徒の心身の健康状態の把握と対処	<ul style="list-style-type: none"> ・各検診の事前、事後指導の徹底。 ・学校保健委員会を通じた生徒の身体状況、健康状態の共通理解。 				
	危機管理体制の整備と安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・校内救急体制マニュアルに基づく緊急時の適切で迅速な体制の共通理解。 ・生徒指導部と連携して生徒を対象とした安全教育の実施。 				
	食育教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態把握に基づく全体推進計画の策定。 ・生徒、保護者への啓発活動。 				
教職員の研究・研修	生徒の実態・ニーズを踏まえた研修の実施。実践につながる研修講座への参加。教科の枠を超えた授業公開・授業研究の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・教科・分掌の研修講座や研修会への積極的な参加奨励と研修内容の共有化を図る。 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・学習・生徒指導・進路指導・防災等に関する研修の実施。 ・授業公開・授業研究の実施。 				
学校事務	教育目標に沿った円滑な学校運営を行うための教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・関係各部署との連携を図り、生徒が安全に学べる環境であることはもとより、学習しやすい学校であることを目標とした環境整備を行う。 				
	丁寧な接遇及び的確な文書・物品の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省点を生かし、来客や電話応対について、親切丁寧かつ迅速であり、そしてわかりやすい説明を心がける。また、そのために文書及び物品管理を的確に行えるように管理体制を整理する。 				
	学校運営経費及び光熱水費の適切な執行管理	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の予算も昨年度同様分での配当予定である。様々な値上げに対しての予算的な措置は行われていないため、状況は厳しい。省より一層の削減、節電・節水の慣行等、省エネについての啓発に努め、予算の執行を適切に行う。また、生徒の活動をより多く支援できるような徴収金等の執行に努めたい。 				

評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題（評価結果の分析）	改善方策等	学校関係者評価（結果・分析）及び改善方策
広報・渉外	学校の教育活動の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「紅葉」の発刊及び HP 等による広報活動の推進。 ・本校 HP の中学生や卒業生に対する内容の充実。 				
	保護者・地域・関係諸機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスの内容の再検討。特に生徒の様子を紹介できる工夫について考える。 				
	同窓会の組織	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会組織の整備、名簿管理の業者委託。 				
図書館教育等	図書を活用した学校生活の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の向上に役立つ図書をそろえるため、教員からの推薦図書を充実させる。 ・授業をサポートできる図書館の役割を推進する。 ・学校行事（朝の読書・本を語ろう会等）の活性化をはかる。 ・図書館だより及び新着図書紹介等の内容を充実させ、利用者を増やす。 ・図書検索システムを活性化させる。 				
環境・美化	校内施設の保全、安全・防災環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・美化関連用具、及び清掃用具の点検保全。 ・四季折々の花を絶やさない美化活動。 ・救助袋を使用した防災学習・訓練の実施。 ・「きれいな学校・西和清陵高校」をスローガンに校内美化の意識を高める。 ・安全点検を日常的に行うことにより、危険箇所や潜在危険を早期に発見し、事故災害の可能性を除去する。 				
	地域に「開かれた学校」となり地域コミュニティにおける役割を担う	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路清掃について、地域の行事の一つとして定着させるとともに、生徒が地域の人たちとコミュニケーションをとることができる体験の場にする。 ・ゴミの分別回収の啓発と徹底。 				

評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題（評価結果の分析）	改善方策等	学校関係者評価（結果・分析）及び改善方策
第1学年	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・時間厳守の徹底。 ・身だしなみの指導の徹底。 ・礼儀や正しい言葉遣いの定着。 				
	基礎学力と判断力の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の定着。 ・授業を大切にすることの意識の育成。 ・規範意識の定着。 				
	帰属意識と愛校心の育成および学校生活での目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活の理解となかま意識の育成。 ・学校行事や課外活動への積極的参加。 ・将来を見据えた学校生活の充実。 				
第2学年	中堅学年としての自覚と基本的生活習慣の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の向上と規律ある行動の確立。 ・基本的生活習慣の充実。 				
	進路実現に向けた学習の習慣づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行等の学校行事を通じて集団意識、愛校心の高揚を図る。 ・授業を大切にすることの態度の涵養。 ・確実な家庭学習の実現。 ・自己能力の認識と開発。 ・進路に関わる情報の収集。 				
第3学年	最高学年としての自覚と社会の一員としての自覚の深化	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立と規範意識の向上。 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・自他の生命の尊重と他者への思いやりなどの道徳性を育てる。 ・学校行事などへの積極的、主体的参加。 				
	希望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・進路目標の早期設定。 ・家庭学習の充実と促進講座への意欲的な参加。 ・進路決定後の指導の充実。 				

平成27年度 学校評価 総括表



清新 敬愛 力行

奈良県立西和清陵高等学校

平成27年度
学校評価 計画表



清新 敬愛 力行

奈良県立西和清陵高等学校